



専門技術を生かし顧客拡大

4月1日付で就任した。支社の最重要課題には顧客の拡大を挙げ、舗装工事を主力に据えつつも、同グループが保有する数多くの専門技術を活用し、「新規顧客への大成ロテック北信越支社長

かがわ
香川 智之氏
ともゆき



間口を広げ、事業量の確保につなげたい」と抱負を語る。

製品事業では、他社と共同で運営する加賀アスコンが2025年9月に工場を建て替え、環境に配慮した最新のプラントを導入した。これを活用することで、「『令和6年能登半島地震』からの復旧・復興にも貢献したい」と力を込める。能登地域への中温化アスファルト合材の供給は、4月から試験的に始めている。

全社で最もコンパクトな支社であるため、「社員同士のコミュニケーションが重要だ」という。部門間の垣根を取り払い、「誰もが意見を言える環境づくりに力を尽

くす」と強調する。

生産性向上策にはICT施工の標準化を掲げ、全社員向けの社員教育を実施しており、「限られた時間を有効に使う取り組みで、働き方改革にも寄与する」と話

また、若手人材の育成も喫緊の課題であるため、入社5年目までの社員を対象に、小規模工事を一人で担当する能力を身に付けるための研修を実施している。

1990年3月高松高専卒業後、同年4月大成道路（現大成ロテック）入社。四国、中国エリアが長く、四国支社長などを歴任した。好きな言葉は野村克也氏の「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」。香川県出身、57歳。

